

中施策評価書

作成日 令和04年 10月 24日

中施策事業名	地域公共交通活性化事業	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	青木 由美枝
①めざすまちの姿	08 交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している		
②大施策	交通の利便性を高め、移住を促し、通勤・通学しやすくなるようにする		
③中施策	公共交通の利便性を良くする		
④中施策事業の対象	豊明市在住・在学・在勤者及び来訪者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	公共交通を利用した移動がしやすいと感じている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 地域公共交通網形成計画推進事業 ・ 地域公共交通計画策定事業 ・ 地域公共交通会議及び地域公共交通活性化協議会の運營業務 ・ ひまわりバスの運行事業 ・ チョイソコとよあけ事業 ・ 地域路線検討事業 ・ 尾三地区広域公共交通推進事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
名鉄バス・ひまわりバスの利用者数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	1,555,000	1,691,000	0	0	0	0
	実績値	1,037,904	1,129,267				
単位	人						
公共交通全体の利用者数（鉄道、名鉄バス、ひまわりバス、チョイソコ）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	1,483.8	1,493.3	1,502.7	1,512.2
	実績値	0	0				
単位	万人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				92, 691千円	93, 578千円	
	a 事業費合計			92, 691千円	93, 578千円	94, 064千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				3, 333千円	2, 479千円	1, 360千円
③ コスト (①－②)				89, 358千円	91, 099千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 298 円	1, 324 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	【B】 新型コロナウイルスの影響により、バスの利用者は令和元年度と比較して令和2年度は34.3%減と大きく減少したが、令和3年度には若干の回復傾向（令和元年度比28.5%減）が見られた。チョイソコは、令和3年4月から道路運送法4条許可を経て、正式に区域運行を開始するとともに、ガバメントクラウドファンディングで100万円の目標を達成した。また、令和3年度に地域公共交通活性化協議会の委員と地域公共交通計画を作成し、今後は新たな計画に基づき、取組みを実施して公共交通利用者の回復を目指していきたい。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	・計画に基づいた利用促進策の取組実施 ・交通空白地域との意見交換 ・チョイソコの運行負担金の軽減（運行事業者選定プロポーザル、エリアスポンサーの獲得、広告料収入などの活用検討） ・ひまわりバス車両購入（電動車の導入）に向けた検討（補助金、広告料収入）	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	・計画に基づいた利用促進策の取組実施 ・ひまわりバス車両購入（電動車の導入）に向けた検討（補助金、広告料収入） ・チョイソコの事業効果検証（クロスセクター効果等）	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 10月 25日

中施策事業名	多世代交流施設整備事業	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	青木 由美枝
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができています		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多様な人とつながっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	多世代交流施設整備事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
工事進捗率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	100	0	0	0	0
	実績値	0	100				
単位	%						
総事業費に対する 収入の割合	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	20	50	0	0	0	0
	実績値	0	59				
単位	%						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				30, 239千円	1, 005, 534千円	
	a 事業費合計			30, 239千円	1, 005, 534千円	0千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	593, 245千円	0千円
③ コスト (①－②)				30, 239千円	412, 289千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				439 円	5, 991 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	【A】 令和4年度の供用開始を目指し、短い工期であったが令和3年度中に整備工事を完了することができた。また、コスト縮減のために都市構造再編集中支援事業の補助金及び企業版ふるさと納税を活用したことで、一般財源の費用をほぼゼロにすることができた。 運営面についても、複合施設の特徴を活かし指定管理者制度を導入し、効率的な施設運営に向けた体制を構築することができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和4年度からは市民協働課に施設を移管し、施設利用者の目標達成に向けた取組の実施及び指定管理者のモニタリングを実施していく予定である。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 4月 12日

中施策事業名	パブリックコメント事業（広聴事業）	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	青木 由美枝
①めざすまちの姿	22 行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている		
②大施策	積極的に市民の意見を吸い上げる		
③中施策	子どもから大人まで意見を述べる仕組みや機会を増やす		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民の意見が政策形成過程に反映されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・パブリックコメント		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
パブリックコメントへの提案件数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	10	10	10	10	15	15
	実績値	3	67				
単位	件						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	0千円	
	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 令和3年度については、6案件に対して、案件により件数がばらつきがあるが、合計で67件のご意見をいただくことができた。多くの意見をいただくことで市民からの意見を踏まえた計画となり、内容も充実に繋がる。 また、関連するまちづくり指標も概ね順調に推移しているが、今後も各課でのパブリックコメントの実施について周知するとともに、より多くの市民に市の計画等についてご覧いただき、ご意見をいただけるようにする必要がある。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	いただいた意見に対する意見対応表を、市民により分かりやすくするため、分かりにくいものについては、担当課と協議する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	HPだけでなく、SNSによる周知も検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 24日

中施策事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	青木 由美枝
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税収を増やす等、収入を確保する		
④中施策事業の対象	市、市民はじめ多様な主体者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	人口ビジョン及び総合戦略実現のために計画的かつ効果的に取り組んでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・まち・ひと・しごと創生総合戦略 ・地方創生 ・構造改革特別区域、地域再生事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
基本目標における K P I の達成率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	10	20	40	60	80	100
	実績値	5.6	5.6				
	単位 %						
施策（事業）のK P I 達成率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	10	20	40	60	80	100
	実績値	18.3	29.4				
	単位 %						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				20千円	20千円	
	a 事業費合計			20千円	20千円	25千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			20千円	20千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 令和2年度に第2期まち・ひと・しごと総合戦略を策定し、令和2年度、令和3年度の実績を取りまとめた。 また、内閣府からの認定を受けた地域再生計画に基づき、企業版ふるさと納税制度を実施し、市のビッグプロジェクトとなる旧唐竹小学校の跡施設を活用した共生交流プラザの整備費(約10億円)に対して各種PRを実施し、結果として4社より46,100千円の寄附をいただくことができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	総合戦略に関する令和3年度実績について、外部委員会による効果検証を行い、今年度以降の事業改善に繋げる。 新たな地方創生推進交付金事業の検討に向けた関係課と協議を行う。 企業版ふるさと納税について、引き続き重点的に募集する事業については、担当課を中心とした周知を行うよう引き続き支援を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	総合戦略に関する実績及び効果検証の状況を踏まえ、行政評価の結果も参考にしながら新規事業の立案や既存事業の見直し等、必要な検討を行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 24日

中施策事業名	行政改革関係事務	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	青木 由美枝
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	市職員		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	行政の事業実施に当たり、人・物・金の最適化により、最小の経費で最大の効果が発揮されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 行政改革 ・ PPP／PFI（指定管理者制度を含む） ・ 総合計画推進レビュー		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
行政改革前期推進 プランの達成度	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	95	0	0	0	0	0
	実績値	95	0				
	単位 %						
行政改革後期推進 プランの達成度	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	20	40	60	80
	実績値	0	0				
	単位 %						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	25千円	
	a 事業費合計			0千円	25千円	100千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				0千円	25千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 令和2年度までの行政改革前期推進プランの実績を行政改革推進委員会に報告を行った。特に民間リソース活用においては、サウンディング調査を有効に活用し、民間のノウハウの活用、かつ、民間事業者が参画しやすい公募仕様を整理し、墓地公園の包括管理、共生交流プラザ管理運営の令和4年度からの事業化に繋げることができた。また、これらの検討実績を踏まえ、庁内で漏れなく民間活用の検討が行われるよう、そのルール等を定める優先的検討規程の検討を行った。上記の事業化、ルールの検討にあたっては、国の支援策を積極的に活用し、コストを掛けずに成果を上げることができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	行政改革後期推進プランについて、行政改革推進委員会の意見を参考にしながら策定する。 また、優先的検討規程に関連する各例規の検討を行い、今後継続して民間活力の活用を全庁的に検討できる体制を構築する。実際の優先的検討の実施にあたっては、各事業担当課が適切な検討を行うことができるよう支援を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	行政改革後期推進プランに掲げた多様な民間活用やDXの推進等の検討課題の解決に向け、民間活用事業推進アドバイザーの支援をいただきながら各課との協議を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 5月 27日

中施策事業名	広域・民間連携推進事業	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	青木 由美枝
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	他自治体、大学、企業など		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	まちの未来像「みんなでつなぐしあわせのまちとよあけ」を実現するため近隣自治体などと協働で事業が行われている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 広域行政(尾三・尾張東部企画担当など) ・ 包括連携		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
協定締結数（市全体）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	158	160	162	164	208	210
	実績値	225	240				
単位	数						
連携枠組み（企画関係）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	3	3	4	4	4	4
	実績値	4	4				
単位	数						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				13千円	10千円	
	a 事業費合計			13千円	10千円	23千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				13千円	10千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 市全体の協定締結数は、240件と順調に推移している。 尾三地区自治体間連携では、引き続き10の検討テーマについて、各関係部署にて広域的な連携について検討を行い、進捗状況を推進会議及び首長、副首長会議にて確認していく。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、各連携の枠組みにおける会議等の開催が難しくなっているが、オンライン開催の検討を進めるなど、引き続き情報共有や連携による課題の解決に繋げていく。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	尾張東部土地利用対策連絡会が令和3年度をもって廃止となったため、令和4年度以降は、必要に応じて、その他の既存の連携の枠の中で議論できるようにする。 また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、各連携の枠組みにおける会議等の開催が難しくなっているものもあるため、オンライン開催の検討を進めるなど、引き続き情報共有や連携による課題の解決に繋げていく必要がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、各連携の枠組みにおける会議等の開催が難しくなっているものもあるため、オンライン開催の検討を進めるなど、引き続き情報共有や連携による課題の解決に繋げていく必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 29日

中施策事業名	行政評価推進事務	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	青木 由美枝
①めざすまちの姿	27 行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している		
②大施策	成果志向型の行政経営を実践する		
③中施策	P D C Aサイクルを確立する		
④中施策事業の対象	市		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	総合計画マネジメントとして行政評価を実施し、市の施策、事務事業のP D C Aサイクルを回し、総合計画のめざすまちの姿の実現に向けた推進を図る		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 行政評価 ・ 実施計画 ・ 業務改善提案制度		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
中施策の総合評価 Aの割合	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	90	90	90	90	90	90
	実績値	0	50				
単位	%						
中施策の進捗状況 Aの割合	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	90	90	90	90	90	90
	実績値	0	41.5				
単位	%						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	0千円	
	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 新型コロナウイルス感染症拡大への対応を優先するため、令和2年度、3年度と行政評価を休止し、2年ぶりの行政評価となった。総合計画も後半に入り、よりまちづくり指標の達成度を意識した事業評価にするため、中施策評価書に特化した評価を行っていくこととした。 市全体の中施策評価の総合評価「A」の割合は50.0%、進捗状況「A」の事業の割合は41.5%となっているため、引き続き行政評価を通して、各課における事業の改善、廃止検討、新規事業の立案を促していく必要がある。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	総合計画も後半に入ったため、まちづくり指標の進捗度合いを意識した評価となるよう、各課が作成した評価書の点検、アドバイス等の作成支援を行っていく必要がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	評価の継続性は維持しつつ、引き続き必要な行政評価のあり方の見直しを行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 11月 29日

中施策事業名	総合計画進捗管理事務	部課名	行政経営部・企画政策課
		作成者	青木 由美枝
①めざすまちの姿	27 行政は明確な成果目標を持ち、定期的に達成度を確認し、絶えず改善している		
②大施策	成果志向型の行政経営を実践する		
③中施策	目標達成のために、職員の自己改革力を高め、連携・協力できる組織を形成する		
④中施策事業の対象	市、市民はじめ多様な主体		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多様な主体者がまちづくりで役割を発揮しながら、まちの未来像「みんなでつなぐ しあわせのまち とよあけ」を実現している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 総合計画策定及び進行管理 ・ 経営戦略会議 ・ プロジェクトチーム		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
成果指標の年度別 達成率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	50	60	70	80	90	100
	実績値	19.8	34.2				
	単位 %						
新制度による業務 改善数	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	75	75	75	75	75	75
	実績値	0	0				
	単位 数						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				5,038千円	1,449千円	
	a 事業費合計			5,038千円	1,449千円	1,441千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				5,038千円	1,449千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				73 円	21 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 令和2年度に総合計画の中間見直しを行った。見直しの中では、更なるめざすまちの姿の達成を図るため、進捗の順調なまちづくり指標については、目標値の上方修正を行った。そのため、指標の全体的な進捗度については悪化している。併せて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市民生活にも様々な面で不安な状況が続いており、毎年行っている市民アンケートの結果も影響を受けている。その中で、アンケートの集計にあたって、RPAの活用を検討し、コスト削減を図るなど工夫を行った。業務改善については、行政評価中止に伴い令和2年度、3年度休止し、令和4年度から再開している。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	総合計画も後半に入り、総合計画マネジメントもよりまちづくり指標の達成度を意識した実施が求められる。 行政評価の実施にあたり、説明会等でまちづくり指標の確認を周知する。また、経営方針の策定や大施策評価にあたって、まちづくり指標を意識した内容となるよう作成方法等の見直しを行う。 また、次期総合計画の策定に向けた方向性の検討を行う必要がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	上記の見直しの結果を考慮し、まちづくり指標の向上に必要な制度の見直し及び庁内への周知方法について検討を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 まちづくりアンケート調査事業	内容、理由、時期等 回答率の向上及び利便性向上のため、WEBによる回答も可能とする仕様に変更する。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等